


事例紹介

信州メディカルネットワークシステム

信州メディカルネット

 <http://www.shinshu-medicalnet.org>

システムの概要

システムの実施目的・地域など

参加団体数と参加患者数

参加の同意方法について

患者さんの同意取得の詳細

サービスについて

共有できる情報項目

共有情報の取得元

システムについて

通信ネットワーク

ログインセキュリティ

主なIT企業

サービス利用・参加料金

蓄積された個人情報の利用

予算について

費用の負担について

システムの概要

システム名	信州メディカルネットワークシステム
代表団体	信州メディカルネット協議会
運用開始状況	導入済み：2011年
稼働状況	サービス運用中
運用終了年	
提供地域	長野
自治体の参加状況	その他の形で参画している
事務局運営人数	兼任4人

システムの実施目的・地域など

システムの導入目的	救急医療対策、医療連携、在宅医療対策、脳卒中対策
地域の課題	二次医療圏内のみならず、二次医療圏を超えた医療機能連携や高次医療の提供
システム導入効果 凡例：(○) 効果あり、	(△) 患者サービスが向上した (△) 患者の負担が軽減した

(△) どちらとも言えない、(×) 効果なし	(△) 医療機関間で機能分化が進んだ (△) 医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ (○) 医療機関間の人的ネットワークが進んだ (○) 医師の偏在を補う効果があった (△) 患者紹介の円滑化が進んだ (△) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった (△) 診療所の支援が受けられるようになった (△) 業務全体の負担軽減 (△) 医師の負担軽減 (△) 看護師の負担軽減 (△) 事務職員の負担軽減 (△) 技術職員の負担軽減 (○) 従事者間の情報共有が向上した (○) 従事者間の連携が向上した
システムの課題	・診療情報を提供する中核病院が負担する地域医療連携システムの導入経費が高額・ベンダーが異なる地域医療連携システム間の連携、相互利用
工夫した点	診療情報提供病院のシステム導入時期等が異なるため、システムレベルの相違があり、機能を十分に活用できていなかった。26年度にシステムレベルを統一できた。
対象地域	全県域での連携

参加団体数と参加患者数

参加団体と参加患者数	【病院】 実施中：44施設 【医科診療所】 実施中：116施設 【歯科診療所】 実施中：9施設 【薬局】 【介護施設】 【その他】 実施中：5施設
利用施設数の割合	
登録患者数状況	実績数
登録患者数	8243
情報共有している患者状況	実績数
共有患者数	6079

参加の同意方法について

医療機関等	医療機関施設毎の参加判断
介護施設・その他	
患者さん	全ての施設毎

患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	

サービスについて

疾病	
サービス	退院時サマリ、画像情報の共有、医療従事者用モバイル対応
補足・備考	各公開病院毎の方針により項目を指定して診療情報を公開

共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	医師記録、サマリ、看護記録等 各公開病院毎の方針により範囲を指定して実施
オーダ情報	処方オーダ、注射オーダ、検体検査オーダ、放射線検査オーダ、内視鏡検査オーダ、生理検査オーダ
検査結果	検体検査結果、生理検査結果、画像
調剤結果	
その他	各公開病院毎の方針により範囲を指定して実施

共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより、医科診療所電子カルテより
----------	------------------------

システムについて

連携方式	分散型、クラウド型
情報共有の形態	双方向での共有、参照のみ
患者IDシステム	HumanBridgeシステムを利用、ID-Linkシステムを利用
標準化ストレージ	SS-MIX 2
情報の保存場所	各医療機関の院内、院外のデータセンター
障害対策	磁気メディア等別媒体への保存
厚労省標準規格の採用	

通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信専用線、医療機関との通信IP-VPN、医療機関との通信インターネットVPN
介護施設・その他施設との通信	
患者さんとの通信	

ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者さん用	

主なIT企業

企業名（1）	富士通（株）
企業名（2）	日本電気（株）
企業名（3）	

サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	実施中：有料 月額：10000円
病院（閲覧施設）	実施中：無料
診療所	実施中：有料 月額：2000円 補足：現在対象施設なし
薬局	
介護施設	
患者さん	実施中：無料

蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的で利用	実施なし/予定なし
学術研究等の公益目的で利用	実施なし/予定なし
公益目的以外で利用	実施なし/予定なし

予算について

構築費用概算	12000（千円）
年間運用費用概算	2000（千円）
保守費概算	
その他年間費用概算	2000（千円）

費用の負担について

実施中システム構築費の負担	自治体の負担
実施中システム運用費の負担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の負担	国の負担（厚労省）

[← 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

▶ 医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- ▶ 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- ▶ 医療情報連携ネットワークの導入効果
- ▶ 利用者の声（導入効果）

▶ 医療情報連携ネットワークをどう作る？

- ▶ 医療情報連携ネットワークの構築手順
- ▶ 実施のポイント
- ▶ 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ▶ ガイドライン、書式例など

▶ 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

▶ 医療情報連携ネットワークとは

- ▶ データで見る
- ▶ ピックアップ事例
- ▶ 事例を探す

▶ 構築手順

- ▶ 構築手順について
- ▶ Step1：計画
- ▶ Step2：構築
- ▶ Step3：運用
- ▶ Step4：更改

▶ FAQ

- ▶ 用語集
- ▶ お役立ち情報
- ▶ リンク集
- ▶ 資料ダウンロード